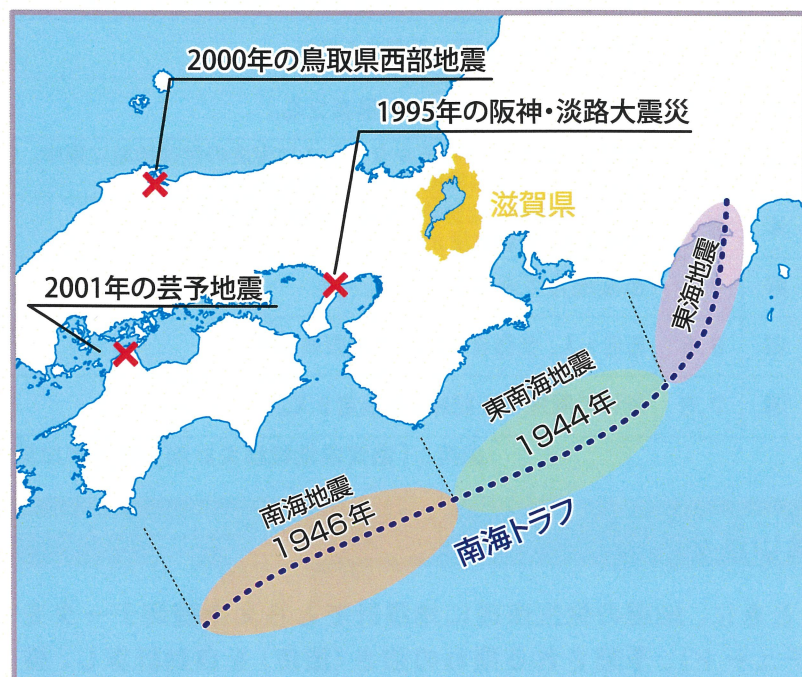


2-4. 市への影響が大きい地震

市では、市への影響が大きい「琵琶湖西岸断層帯地震」、「南海トラフ地震」について、震度想定を行いました。

下図は「琵琶湖西岸断層帯」、「南海トラフ」や過去に発生した地震の位置を表しています。



出典：「滋賀県ホームページ」



出典：「地震調査研究推進本部」

地震名			マグニチュード	今後30年以内の地震発生確率
想定地震	活断層地震	琵琶湖西岸断層帯地震（南部）	7.5程度	ほぼ0%
	海溝型地震	南海トラフ地震	8.0～9.0	70%～80%
参考	活断層地震	阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）	7.3	0.02%～8% （発生直前の評価）
	海溝型地震	東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）	9.0	10%～20% （発生直前の評価）

出典：「地震調査研究推進本部（算定基準日 令和2年1月1日）」

巨大な地震が発生すると建物の倒壊、液状化により建物が傾いたり、または家具の下敷きになるなどの被害が生じます。また、道路や電気、ガス、水道などのライフラインが寸断されたり、火災が発生するなど、大きな被害に発展する恐れがあります。

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割が住宅などの倒壊による圧死といわれています。大きな地震から人命や財産を守るためには、住宅などの耐震化が必要です。地震に備えるためには、地域で発生する恐れがある地震、建物被害などの可能性を十分に理解し、防災に対する意識を高めることが重要です。

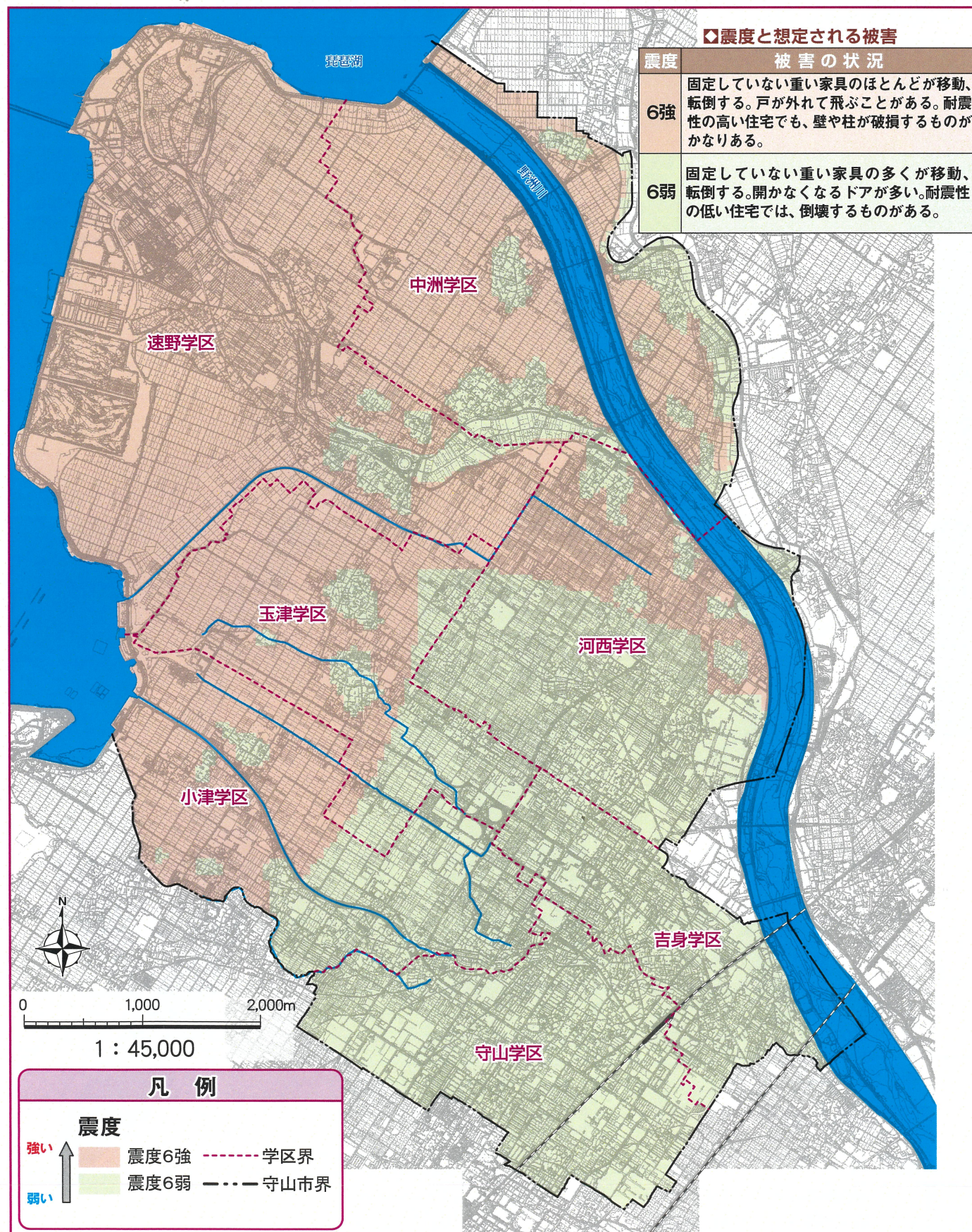
2-5. 琵琶湖西岸断層帯地震（震源：南部）の想定震度マップ

このマップは、琵琶湖西岸断層帯地震（震源：南部）が発生した場合の想定震度を示しています。

琵琶湖西岸断層帯地震（震源：南部）の今後30年以内の発生確率はほぼ0%と言われております。

守山マップ

（公開型GIS）▶



震度と想定される被害

震度	被害の状況
6強	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
6弱	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。



0 1,000 2,000m

1 : 45,000

凡例

強い ↑	震度6強	----- 学区界
弱い ↓	震度6弱	- - - - 守山市界